

昭和52年度秋田県内におけるポリオ 流行予測感染源調査結果について

原田 誠三郎* 佐藤 宏康* 森田 盛大*
齊藤 清津子*

I はじめに

秋田県におけるポリオ流行予測調査は、昭和42年度から厚生省委託事業として実施してきたが、本年度も県北の能代市地区と県南の本荘市地区の2地区を選定し、感染源調査(ウイルス分離試験)を実施したのでその結果を報告する。

II 実験材料および実験方法

A. 実験材料

1. 被検糞便

感染源調査のための被検糞便材料は、表1.に示すように、県北の能代市地区において昭和52年8月26日と9月7日の2回にわたり計51名から採取した。また、県南の

表1. 昭和52年度ポリオ流行予測調査成績

分離材料 採取地区	能代市 S・52・8・26 "・9・7				本荘市 S・52・8・24			
	被検 体数	ウイルス分 離陽性数	ポリオウ イルス	ポリオウイルス以外のウ イルス	被検 体数	ウイルス分 離陽性数	ポリオウ イルス	ポリオウイルス 以外のウイルス
0					6	1		CoxB2 (1)
1	7	2		CoxB4 (2)※	9	0		
2	14	6		CoxB2 (5) Echo7 (1)	9	2		CoxB2 (2)
3	12	3		CoxB2 (1) 未同定 (2)	8	2		CoxB2 (1) 未同定 (1)
4	3	1		未同定 (1)	1	0		
5	8	0			6	0		
6	7	1		CoxB2 (1)	7	0		
計	51	13		CoxB2 (7), Echo7 (1) CoxB4 (2), 未同定 (3)	46	5		CoxB2 (4) 未同定 (1)

※ () は株数

本荘市地区では昭和52年8月24日に46名から採取した。

なお、被検糞便材料は採取後直にドライアイスに凍結し、検査時まで-70℃に保存し、接種時にはSLEK (抗生物質を含むLE) で10%乳剤としたのち10,000rpm, 30分遠心後、その上清を接種材料とした。

B. 実験方法

昭和52年度厚生省伝染病流行予測調査術式¹⁾に準じた。すなわち、初代カニクイザル腎細胞-2%FCSC+MEM維持液-37℃回転培養の分離方法で検査を実施した。CPEは14日間毎日観察し、CPE陽性を示した検体はSchmidt Pool 抗血清と型特異抗血清で同定した。

III 調査成績

県北の能代市地区と県南の本荘市地区における調査成績を表1.に示したが、県北の能代地区においては、0才と5才群を除く各年齢群から未同定ウイルスを含む13株のウイルスが分離された。その分離ウイルスを年齢別にみると、1才ではコクサッキーウイルスB4型が2株、2才ではコクサッキーウイルスB2型が5株とエコーウイルス7型が1株、3才ではコクサッキーウイルスB2型が1株と未同定ウイルス2株、4才では未同定ウイルス1株、そして、6才ではコクサッキーウイルスB2型が1株ずつそれぞれ分離された。また、ポリオウイルスはいずれの年齢群からも分離されなかった。結局、能代

*秋田県衛生科学研究所

市における分離率は13/51(25%)であった。

県南の本荘市地区の小児からのウイルス分離は、0才で1株、2才で2株、そして3才で2株分離されたが、3才の未同定ウイルス1株を除いた4株のすべては、コクサッキーウイルスB2型で、この地区における分離率は5/46(11%)であった。また、本荘市地区においてもポリオウイルスは分離されなかった。

なお、コクサッキーウイルスB2型が両地区から分離されたことから、本ウイルスが県内全域にかなりの規模で侵襲していたことが推定された。また、全体の分離率18/97(19%)で昭和51年度の10%よりは高く²⁾、昭和52年度の夏期はエンテロウイルスが去年度より多く侵淫していたことが推定された。

IV ま と め

昭和52年度ポリオ流行予測調査事業を県北の能代市と県南の本荘市の2地区を選定して実施した結果、次の成績を得た。

1. ポリオウイルスは両地区から分離されなかった。
2. 県南の本荘市地区では、5株のウイルスが分離され、

未同定ウイルス1株を除いた他の4株はコクサッキーウイルスB2型であった。

3. 県北の能代市地区では、コクサッキーウイルスB2型が7株とB4型が2株、そしてエコーウイルス7型が1株ずつ分離されたが、なお、未同定ウイルスは3株であった。

4. コクサッキーウイルスB2型が県内全域に侵淫していたことが推定された。

なお、稿を終えるにあたり、本調査に御協力下さいました県公衆衛生課、能代市役所、能代保健所、本荘市役所、本荘保健所の担当各位に謝意を表わすとともに、予研腸内ウイルス部の多ヶ谷勇部長および原稔先生にも深謝致します。

文 献

- 1) 厚生省公衆衛生局保健情報課：昭和52年度伝染病流行予測調査検査術式(1977)
- 2) 原田誠三郎たち、昭和51年度ポリオ流行予測調査成績について、秋田県衛生科学研究所報、21, 83-84(1977)